

人口減少をふまえて 地域の将来像を考える

1日目 全体会 13時～17時

記念
講演

「人口減少」と地域づくり
～現場から学ぶ～



岡田 知弘

京都大学大学院
経済学研究科 教授

特別
講演

逆境から未来を拓く、
あば村宣言と「小さな拠点」づくり



皆木 憲吾

あば村運営協議会 事務局長

日時
会場

2017年
8月3日(木)～4日(金)

エル・おおさか (大阪府立労働センター)



大阪府中央区北浜東3-14
TEL 06-6942-0001
FAX 06-6942-1933



2日目 選科 9時20分～15時

選科
A

人口減少時代の都市のかたちを考える
～空き家をめぐる政策と取り組みを中心に～



- 講義1 「人口減少社会における居住と居住地のあり方」
- 講義2 「日本と世界のコンパクトシティとシュリンクシティ(縮小都市)」
- 講義3 「空き家をめぐる各地の取り組みと教訓～人口減少社会での可能性の視点で」

海道 清信

名城大学都市情報学部 教授

選科
B

農村として「地方創生」にどう向き合うか
～自治体としてとるべき姿勢と対応策を考える～



- 講義1 「『地方創生』政策の罫」
- 講義2 「農村の直面する課題～農村政策の展開とその限界」
- 講義3 「農村の未来に向けていま私たちができること」

坂本 誠

NPO法人 ローカル・グランドデザイン 理事

選科
C

人口減少と
地域・公共施設の展望



- 講義1 「政府が進める国土と地域の再編、全体像をとらえる」
- 講義2 「公共施設等総合管理計画の読み方と公共施設のあり方」
- 講義3 「立地適正化の狙いとコンパクトシティのあり方」

中山 徹

奈良女子大学 教授

1日目 8月3日(木) 13時～17時

記念
講演

「人口減少」と地域づくり～現場から学ぶ～

京都大学大学院経済学研究科
教授 岡田 知弘氏

「自治体消滅」レポートが発表されて以来、「人口減少」問題が国と地方自治体の地方創生総合戦略の中心に据えられています。そして「選択と集中」「コンパクトシティ」「公共施設の再編統合」が一斉に推進されています。けれども、すべての自治体が人口を減らしているわけではありません。小規模自治体でも人口を増やしているところがあります。地域ごとに人口増減の要因は異なります。自治体の第一の使命である住民の福祉の向上を図るために、この問題にどのように向き合うべきかを、過疎高齢化先進地の地域づくりの事例をもとに考えます。

特別
講演逆境から未来を拓く、
あば村宣言と「小さな拠点」づくりあば村運営協議会
事務局長 皆木 憲吾氏

“この度、私たちはここに「あば村」を宣言いたします。自治体としての村はなくなったけど、新しい自治のかたちとして、心のふるさととして「あば村」はあり続けます。…”

合併から10年を迎えた平成27年2月14日、地区の中心部にある阿波公民館には地区人口の約2割、110名の参加者が集まり、高らかに「あば村宣言」が宣言されました。平成の大合併により100年以上続いた『村』が無くなり、急速に過疎・高齢化が進む中、行政と協働しながら地域再生に取り組む岡山県津山市阿波地区の取り組みを紹介します。

- 1日目は、記念講演を13:10～14:50、特別講演を15:10～16:50の時間割で行います。
- 2日目の選科A～Cは同時間・並行開催です。
講義1：9:20～10:40、講義2：11:00～12:20、
講義3：13:20～14:50の時間割で行います。

2日目 8月4日(金) 9時20分～15時

選科
A人口減少時代の都市のかたちを考える
～空き家をめぐる政策と取り組みを中心に名城大学都市情報学部
教授 海道 清信氏

人口減少社会の都市はどのような理念で計画、運営していくべきか。近年、人口減少時代を明確に意識した都市政策が出てきた。都市空間をよりコンパクトにするための立地適正化計画の策定（都市再生特別措置法）、管理不全の空き家を特定空き家として対処すること（空き家対策特別措置法）や、地域構造を「コンパクト+ネットワーク」にする考え方が強調されている国土形成計画など。本講義では、世界の取り組みも参考にしながら、人口減少社会での都市や居住地のあり方を、マイナスをゼロにするのではなく、これからの豊かな都市や地域の可能性として考えたい。

選科
B農村として「地方創生」にどう向き合うか
～自治体としてとるべき姿勢と対応策を考える～NPO法人 ローカル・グラウンドデザイン
理事 坂本 誠氏

「地方創生」の名の下にいま起こりつつあることは、わが国全体で縮小しつつある“人口”というパイを自治体どうして奪い合う不幸な自治体間競争です。不幸な自治体間競争から脱却して、住民1人ひとりがこころ豊かに暮らしを営み、地域への愛着と誇りを育みあえる地域社会をどうつくり直すのか？ そのために自治体や議会が果たすべき役割とはなにか？ さらに、地域を支える新たな人材として若者たちを迎え入れるために必要な姿勢や方策とはなにか？ 本講義では、農村の直面する課題とその要因を解き明かしながら、農村の未来に向けて私たちにできることを検討します。

選科
C

人口減少と地域・公共施設の展望

奈良女子大学
教授 中山 徹氏

人口減少との関係で政府は国土と地域を大きく再編しようとしています。まずその全体像をつかみます。その上で、公共施設とまちのあり方を考えます。前者で重要なのは公共施設等総合管理計画です。全ての自治体が公共施設等総合管理計画を策定していますが、それをどのように評価すべきかを見ます。そして人口が減少する時代、公共施設をどのように整備・運営すべきかを考えます。後者で重要なのは立地適正化です。すでに300以上の自治体が立地適正化に取り組んでいます。まずその傾向・内容を見ます。その上で人口減少の中でどのようなまちづくりを進めるべきかを考えます。

参加の申し込み

右の申込書に必要事項を記入の上、ファックス又はメールでお申し込みください。参加費は、下記の送金先までお願い致します。

定員	150名（2日間通し参加のみ） ※ご送金いただいた順にお席を確保し、領収書・参加案内をお送り致します。
参加費	25,000円 ※キャンセル料：7月24日以降、10,000円を申し受けます。
備考	お泊まりはご自身でお手配ください。2日目の昼食（弁当）を希望される方は、参加申込受付後に別途受付いたします。
申込先	NPO法人 建設政策研究所 関西支所 議員研修会係 〒540-0035 大阪市中央区釣鐘町1丁目1-1 AKレズィデンス501号室 FAX: 06-6941-6115 TEL: 06-6941-6058 E-mail: nre28145@nifty.com
送金先	① 銀行名：ゆうちょ銀行 郵便振替 記号・番号：00950-0-117703 加入者名：建設政策研究所 関西支所 ② 銀行名：三井住友銀行 天満橋支店 銀行コード：0009 店番：131 普通：1556745 口座名義：建設政策研究所 関西支所

申込書

※必ず2日目の希望選科を○で囲んでください。

2日目 希望選科	<input type="radio"/> A 人口減少時代の都市のかたちを考える <input type="radio"/> B 農村として「地方創生」にどう向き合うか <input type="radio"/> C 人口減少と地域・公共施設の展望	
氏名	男・女	
領収書宛名		
領収書送付先	〒	
電話	F A X	
所属等	都・道 府・県	市・区 町・村
	現在（ ）期目	